

# 渋沢栄一と井原

サクセスストーリー  
栄達の道は井原から

渋沢栄一は、一橋家の家臣となり、  
農兵を集めるため領地であった  
備中国の西江原村(現井原市)を訪れました。  
郷学・興譲館の館長・阪谷朗廬と語り合い、  
親交を深め、農兵募集は大成功をおさめ、  
領主慶喜に認められます。  
井原は栄一にとって世に出るきっかけの地でした。



井原市文化財センター蔵  
渋沢栄一肖像



井原市文化財センター蔵  
井原肖像

井原市文化財センター特別展

2021 7/1 [木] ~ 2022 1/30 [日]  
Open/9:00~16:30

期間中一部展示品の入れ替えを行い、3期に分けて展示を行います。

井原市文化財センター 古代まほろば館

開館時間/9:00~16:30 休館日/月曜(月曜が祝日等の場合はその翌日)・年末年始(12/28~1/4)  
住所: 岡山県井原市井原町333-1 電話: 0866-63-3144 駐車場: 20台有

【主催】井原市教育委員会 ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、会期等を変更する場合があります。



入館料  
無料

本展示会における新型コロナウイルス感染症対策について、入場に関する注意事項とお願い。

- 下記に該当する方は、本展には入場できません。
  - 37.5℃以上の発熱がある方や、体調がすぐれない方(味覚・嗅覚異常を含む)。
  - 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方。
  - 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある方。
- 会場では入場に際し「マスクの着用、手指の消毒」が必須となります。
- 来場の際には事前に体調を確認し、発熱や体調不良がある場合は来場をご遠慮ください。
- 入口で入場制限を行っています。入場に際しては係員の指示に従ってください。

# 渋沢栄一と井原のゆかり



渋沢栄一



阪谷朗廬



阪谷芳郎

## 若き日の大活躍

元治元年(1864)から一橋家(当主慶喜)に仕えた渋沢栄一は、慶応元年(1865)2月から翌年2月にかけて、**農兵(歩兵)\*1**募集と領内の産業の発展のために備中代官所(江原陣屋)を始めとして、備中一橋領を何度も訪れ、大きな成果をあげました。

それまで1年間、従兄弟の渋沢喜作<sup>きさく</sup>とともに行動していた栄一ですが、単独で農兵募集のことを献策すると、「歩兵取立御用掛」という役を命じられ、必ず成功させると決心して備中一橋領へ向かったのです。

25歳の栄一は、この地で誠意をもって人々と向き合い、見事任務を成功させました。そして、**慶喜からも認められた\*2**のです。

\*1: 農民から集められた鉄砲隊の兵士

\*2: 「速やかに大役を成し遂げて満足に思う」というお褒めの言葉を賜り、白銀5枚と時服一重ねの褒美を賜った

## 渋沢家と阪谷家の姻戚関係

明治21年(1888)に、渋沢栄一と千代の次女・琴子と、**阪谷朗廬**と恭の四男・芳郎が結婚しました。

すでに朗廬は亡くなっていましたが、栄一が一橋家家臣時代以来、朗廬と親しい間柄であったことも、芳郎を婿に選んだ理由の一つだったことでしょう。

明治21年当時の芳郎は、東京帝国大学を卒業し大蔵省へ入省したエリート官僚で、前年11月に栄一の別荘で開かれた晩さん会へ出席し、栄一と琴子に気に入られたのです。芳郎と琴子は2男5女に恵まれました。

芳郎は栄一を尊敬し、**同族経営などを補佐\*1**しています。また、栄一も**芳郎に助言\*2**をしたり、**協力\*3**して事業を進めたりしています。



阪谷芳郎・琴子一家

\*1: 渋沢同族会、龍門社、徳川慶喜公伝刊行事業など

\*2: 東京市長(現在の都知事)の芳郎が東京市会(同都議会)と対立した際に仲介役を務めたなど

\*3: 東京市長であった芳郎が着手した明治神宮・外苑整備事業に協力したなど

## ゆかりの地とアクセス



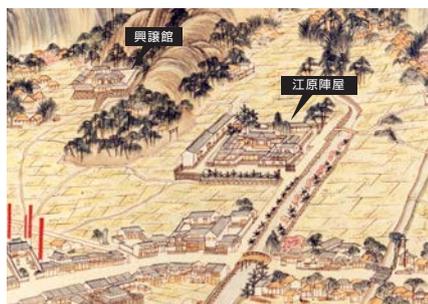
嘉永6年(1853)に郷校として開校。安政4年(1857)に建てられた校門に掲げられた「興譲館」の扁額は、朗廬と親交あった栄一が明治45年(1912)に揮毫したものである。創建当時の姿をとどめている講堂は、栄一が当地を訪れ朗廬と面会した場所である。  
※平日は校門のみ、休日は校門に入って講堂を木戸前より見学可能

文政11年(1828)現在の井原市を中心に3万5千石余りが一橋領となる。慶応元年(1865)一橋家家臣であった栄一もこの陣屋を訪れた。  
※見学の対応はしておりません

飛行機	岡山空港	自動車(山陽自動車道)	40分	笠岡IC	20分	井原市
	広島空港	自動車(山陽自動車道)	50分			
自動車	大阪	中国・山陽自動車道	2時間40分	笠岡IC	20分	井原市
	岡山	山陽自動車道	40分			
	広島	山陽自動車道	1時間40分			
鉄道	東京駅	東海道・山陽新幹線	3時間20分	岡山駅	清音駅	井原駅
	新大阪駅	山陽新幹線	45分	JR伯備線	25分	井原線
	広島駅	山陽新幹線	25分	JR福塩線	13分	井原線
				福山駅	神辺駅	井原線
						20分



現在の興譲館



備中江原八景絵図・安政6年(1859)作成

